

第30回

都島メディカル ・カンファレンス

参加費
無料
申込要

本会は、医師会と大阪市立総合医療センター、近隣の診療所・病院勤務医師の先生方や多職種の方々と、症例検討を中心としたカンファレンスです。

このカンファレンスを通してレベルが向上し、相互の親睦も深め、医療連携が促進されることで患者さんへより良質の医療を提供する一助となる事を目的としています。

今年度から鶴木則之眼科部長が着任しましたので、これを機会にこれまで取り上げてこなかった眼科の救急疾患についての講演を行います。皆様と一緒に勉強したいと思いますので、ぜひ、ご参加ください。

2021年

9月18日(土)

午後3時～5時(14時30分受付開始)

会場：大阪市立総合医療センター 3階さくらホール

対象：医療従事者

◆プログラム



【開会あいさつ】

初期急病診療部担当部長 山口 利昌



【症例】

「腹腔内膿瘍から失明に至った侵襲性klebsiella pneumoniae感染症の一例」

初期急病診療部医長 清水 克修



【特別講演】 「眼科救急疾患」

眼科部長 鶴木 則之(うのき のりゆき)

日常診療において、かかりつけ患者さんが目の不調を訴えることは時々あると思います。これはすぐに眼科受診を勧めた方がよいのか、多少待っていてもよいものか判断に迷われることもあると思います。

今回は、このような悩みを解消していただけるように、急病診療所の眼科受診実績から頻度の高い眼疾患をベースにして、緊急性の低い「結膜下出血」のような疾患から、すぐに治療が必要な緊急度の高い「急性緑内障発作」のような疾患まで、ご紹介させていただきます。



【閉会あいさつ】

総合診療科部長 後藤 仁志

主催：大阪市立総合医療センター

【事務局】 総合診療科 後藤 仁志
初期急病診療部 山口 利昌

お問合せ：地域医療連携センター 金山 ☎06-6929-3633(直通)

